

事業所名

児童発達支援きぼう

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

10月

1日

法人（事業所）理念	今の時を喜びと感謝を持って生きる 障がいや発達につまずきのある子どもの発達に沿った発達支援				
支援方針	利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、事業所において、適切かつ効果的な指導訓練を行うものとする。 心身の発達の気になる児童に障がいの状態やニーズに応じた合理的配慮を行いつつ、日常生活や集団生活に必要な知識や技術、自立に向けて必要なスキルが身に付くように療育を行います。また、地域や家庭との結びつきを重視し、関係機関との連携による支援に努めます。				
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康な生活を送ることを目標とした取り組みを行います。 ・体温測定、体調観察。屋外活動。静と動を組み合わせたメリハリある活動。おやつや昼食を通しての食育・家事体験。 ・トイレトレーニング、着脱、手洗い、うがい、食事、午睡等、基本的な生活スキルの獲得支援。			
	運動・感覚	運動と感覚を向上させることを目標とした取り組みを行います。 ・音楽に合わせて身体を動かす遊びや運動。トランポリン、指先遊び、ボール遊び、感覚遊び、屋外活動。			
	認知・行動	認知したものを行動につなげるための取り組みを行います。 ・始まりの会（日付・曜日・天気・活動内容の提示）ブロック遊び。ねんどやスライム遊び。小集団ゲーム遊び。屋外活動。			
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用、言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上、コミュニケーション手段の選択と活用。 ・あいさつ、始まりの会で今日の、気分、気持ちの言語表出。言葉を覚えて声に出す。 ・文字、記号、絵カード、指さし、身振り、サインなどでコミュニケーション手段を使えるようになる支援をします。			
	人間関係 社会性	他者との関わりの形成、自己理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加。 ・見て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び、の組み合わせ。一人遊び、並行遊び、連合遊びなど遊びの組み合わせ。役割分担のある遊びなど共同遊び。 ・イベントなどを通じた地域、他事業所との交流。様々な利用者や職員と触れ合う。良いことを積極的に伝える。			
家族支援	保護者の困りごとや悩みをよとの軽減。 親子療育を通して、その場での助言・援助。保護者との懇談会、個別面談。 関係機関との連携による支援。	移行支援	家族への情報提供や移行先での環境調整。子供の情報、保護者の意向等について移行先への伝達。並行通園の場合は、利用日数や時間等の調整。相談支援等による移行先への支援。同年代の子どもとの仲間作り。		
地域支援・地域連携	保育所等の子育て支援機関との連携、医療機関、保健所の専門機関との連携。 個別ケース検討会への参加。教育機関の関係者との連携。 地域支援の体制構築のための会議への出席。	職員の質の向上	各種委員会を開催（環境美化委員会、個人情報保護委員会、企画広報委員会、 事故発生防止委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、感染症予防委員会）。 ケア会議、内部、外部研修を通して利用者の生活の向上や職員の質の向上を図る。		
主な行事等	初詣、節分豆まき会、ひな祭り、卒園式、お花見会、こどもの日会、七夕会、ピクニック、運動会、水遊び、敬老交流会、遠足、ハロウィン、紅葉狩り、クリスマス会、お誕生会、避難訓練				